

ディプロマ・ポリシー

概要	農学と関連分野における専門に立脚した高度な知識と技術を持ち、国内外の諸課題を解決し、新時代を切り開くために専門分野を超えた持続的 社会創成へ向けての幅広い知識に基づく俯瞰的な思考力を身につけ、深い学識と研究能力により、国内外のさまざまな現場における課題解決型 技術者として活躍できる国際通用性のある人材、もしくは使命志向型博士課程への高度人材としての素地を育成することを目標とする。 農学専攻は、この目標に基づき、以下の能力を身につけるとともに、所定の単位数を修得し、かつ、修士論文審査及び最終試験に合格した者 に、修士(農学・学術)の学位を授与する。
観点(A)	A) 農学に関する科学的な論理体系の理解とその課題探求に必須となる基礎知識および応用力を有していること(学力・知識・思考力)
観点(B)	B) 社会の持続的発展のための貢献を使命とし、広い視野を持ち国際人として活躍できる素養と教養を有していること(関心・意欲・教養)
観点(C)	C) 研究倫理を尊び、自ら研究・調査した結果をとりまとめ、情報発信発表できる能力及び、英語によるコミュニケーションや議論の能力を身 につけていること(分析力・考察力・表現力)
観点(D)	D) 高度な専門的能力とともに、広い視野と高い識見を持ち合わせ、課題解決を実践するリーダーシップを身につけている こと(課題探求力・企画力・実践力)

教育研究 分野	科目 区分	授業科目	観点			
			A	B	C	D
共通基礎科目		生物生産科学概論I	◎	○		
		生物生産科学概論II	◎	○		
		応用生命化学概論I	◎	○		
		応用生命化学概論II	◎			
		自然環境資源学概論I	◎	○		
		自然環境資源学概論II	○	◎		
		食農情報工学概論I	◎		○	
		食農情報工学概論II	◎		○	
		地球社会学概論I	○	◎		○
		地球社会学概論II		◎	○	○
		国際イノベーション農学概論I	◎	○		
		国際イノベーション農学概論II	◎	○		
		農と工の科学概論	◎	○		
		21世紀農学特論	○			◎
		異文化コミュニケーション学		○	◎	
		Arts of Intercultural Communication		○	◎	
		農学特論I	◎			
		農学特論II	◎			
		農学府特別講義I()	◎			
		農学府特別講義II()	◎			
	農学府特別講義III()	◎				
	日本語I		◎			
	日本語II		◎			
共通演習科目		農学実験計画法および統計解析演習I	◎			
		農学実験計画法および統計解析演習II	◎			
		フィールド・ラボ安全管理と研究倫理I			◎	
		フィールド・ラボ安全管理と研究倫理II			◎	
		知財の管理と運用		◎		
		空間情報解析演習	◎			
		農学課題別演習	◎			
		国内外特別演習		◎	○	
		国際研究プレゼンテーション演習I	◎			○
		国際研究プレゼンテーション演習II	◎			○
		農学演習I	◎	○		
		農学演習II	◎	○		
		農学演習III	◎	○		
		農学演習IV	◎	○		
		農学演習V	◎	○		
論文関連科目	特別研究	農学特別研究I,III				◎
		農学特別研究II,IV				◎
	特別演習	農学展開研究I,III				◎
		農学展開研究II,IV				◎
		農学特別演習I,II	◎	○	○	○
	論文レビュー特別演習I,II	◎				
生物生産科学コース	専門科目	生産環境科学I	◎			
		生産環境科学II	◎			
		植物生産科学I	◎			
		植物生産科学II	◎			
		動物生産科学I	◎			
		動物生産科学II	◎			
		生物制御科学I	◎			○
		生物制御科学II	◎			○
		生物制御科学III	◎			○
		生物制御科学IV	◎			○
	生物生産科学特論(生産環境系)-I	◎				
	生物生産科学特論(生産環境系)-II	◎				
	生物生産科学特論(生産環境系)-III	◎				
	生物生産科学特論(生産環境系)-IV	◎				
	生物生産科学特論(植物系)-I	◎				
	生物生産科学特論(植物系)-II	◎				
	生物生産科学特論(植物系)-III	◎				
	生物生産科学特論(植物系)-IV	◎				
	生物生産科学特論(動物系)-I	◎				
	生物生産科学特論(動物系)-II	◎				
生物生産科学特論(動物系)-III	◎					
生物生産科学特論(動物系)-IV	◎					
生物生産科学特論(制御系)-I	◎					
生物生産科学特論(制御系)-II	◎					
生物生産科学特論(制御系)-III	◎					
生物生産科学特論(制御系)-IV	◎					

教育研究 分野	科目 区分	授業科目	観点			
			A	B	C	D
応用生命化学コース	専門科目	生体分子化学I	○			◎
		生体分子化学II	○			◎
		生理生化学I	○			◎
		生理生化学II	○			◎
		健康長寿科学I	○			◎
		健康長寿科学II	○			◎
		応用生命化学特論I	○			◎
		応用生命化学特論II	○			◎
		応用生命化学特論III	○			◎
		応用生命化学特論IV	○			◎
		応用生命化学特論V	○			◎
		応用生命化学特論VI	○			◎
		自然環境資源コース	専門科目	環境資源材料学I	◎	
環境資源材料学II	◎					
資源機能制御学I	◎					
資源機能制御学II	◎					
環境生物学I	◎			○		
環境生物学II	◎			○		
環境化学I	◎			○		
環境化学II	◎			○		
生態系保全学I-a	◎			○		○
生態系保全学I-b	◎			○		○
生態系保全学I-c	◎			○		○
生態系保全学II-a	◎			○		○
生態系保全学II-b	◎			○		○
生態系保全学II-c	◎			○		○
生態系保全学III	◎			○		○
森林環境保全学I-a	◎			○		○
森林環境保全学I-b	◎			○		○
森林環境保全学I-c	◎			○		○
森林環境保全学II-a	◎			○		○
森林環境保全学II-b	◎			○		○
森林環境保全学II-c	◎	○		○		
森林環境保全学III-a	◎	○		○		
森林環境保全学III-b	◎	○		○		
自然環境資源学特論I	◎					
自然環境資源学特論II	◎					
自然環境資源学特論III	◎					
自然環境資源学特論IV	◎					
自然環境資源学特論V				◎		
自然環境資源学特論VI			○	◎		
自然環境資源学特論VII			○	◎		
自然環境資源学特論VIII			○	◎		
自然環境資源学特論IX	○	◎		○		
自然環境資源学特論X	○	◎		○		
食農情報工学コース	専門科目	地域環境工学I	◎	○	○	
		地域環境工学II	◎	○	○	
		地域環境工学III	◎	○	○	
		生物生産工学I	◎	○	○	
		生物生産工学II	◎	○	○	
生物生産工学III	◎	○	○			
食農情報工学特論I	○	◎		○		
地球社会学コース	専門科目	共生人間学I	○	◎		○
		共生人間学II		◎		○
		環境社会関係学I	○	◎	○	○
		環境社会関係学II		◎		○
		食料環境経済学I	○	◎		
食料環境経済学II		◎	○			
食料環境経済学III		○		◎		
地球社会学特論I		◎		○		
国際イノベーション農学コース	専門科目	国際環境修復保全学I	◎			
		国際環境修復保全学II	◎			
		国際生物生産資源学I	◎			
		国際生物生産資源学II	◎			
		国際応用生命化学I	◎			
		国際応用生命化学II	◎			
		国際地域開発学I		◎		
		国際地域開発学II		◎		
		国際応用動物学I	◎			
		国際応用動物学II	◎			
国際イノベーション農学特論I				◎		

◎と○がある場合は、◎は主たる関与であることを示す。

ディプロマ・ポリシー

概要	国内外の獣医学領域における諸問題を網羅的に分析・評価し、獣医学的な視点で解決するための高度かつ広範な専門知識と研究能力を身に付けた学生に「博士(獣医学)」を授与する。様々な動物種を対象とした高度獣医療を実践できる獣医臨床医科学、動物衛生及び公衆衛生を中心とした食の安全安心を守る専門性の高い獣医衛生科学、あるいは、これらの分野の基盤となり最先端の基礎研究を実践する動物基礎医学、を習得した学生に学位を授与する。 1) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識と研究能力を備え、臨床獣医師として高度獣医療ならびに臨床研究を実践する人材 2) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識と研究能力を備え、行政、研究の分野で国内外の食の安全安心を守るリーダー足り得る人材 3) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関する高度な専門知識と研究能力を備え、国内外の研究機関および企業にて最先端の研究を実践する人材
観点(A)	A) 共同獣医学専攻において掲げた人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、博士研究者としての基礎的な素養や研究倫理、コミュニケーション能力を身につけること
観点(B)	B) 高度獣医療の提供、人類と動物の健康、食の安全、ならびに先進的な研究の発展に貢献できる博士研究者として、研究遂行上必須となる専門性の高い高度な獣医学の知識や実践的研究手法などの研究能力を身につけること
観点(C)	C) 共同獣医学専攻の強みである獣医学領域と関連する分野の最新の研究知見を身につけること
観点(D)	D) 身につけた能力とフィールドでの社会的ニーズをリンクさせ、自ら培った研究能力をどのように社会還元できるかをイメージできること、またそれらを表現できる能力とリーダーシップ力を身につけること

教育研究分野	科目区分	授業科目	観点			
			A	B	C	D
共通基盤科目		獣医学基盤講義A	○			
		獣医学基盤講義B	○			
		研究デザイン演習	○			
		研究プレゼンテーション演習	○			
		研究倫理(東京農工大学)	○			
		研究倫理(岩手大学)	○			
動物基礎医学講座	講座科目	動物基礎医学特論A(東京農工大学)		○		
		動物基礎医学特論B(東京農工大学)		○		
		動物基礎医学特論C(東京農工大学)		○		
		動物基礎医学特論A(岩手大学)		○		
		動物基礎医学特論B(岩手大学)		○		
		動物基礎医学特論C(岩手大学)		○		
	研究指導科目	動物基礎医学特別演習A(東京農工大学)		○		
		動物基礎医学特別演習B(東京農工大学)		○		
		動物基礎医学特別演習C(東京農工大学)		○		
		動物基礎医学特別演習A(岩手大学)		○		
		動物基礎医学特別演習B(岩手大学)		○		
		動物基礎医学特別演習C(岩手大学)		○		
獣医衛生科学講座	講座科目	獣医衛生科学特論A(東京農工大学)		○		
		獣医衛生科学特論B(東京農工大学)		○		
		獣医衛生科学特論C(東京農工大学)		○		
		獣医衛生科学特論A(岩手大学)		○		
		獣医衛生科学特論B(岩手大学)		○		
		獣医衛生科学特論C(岩手大学)		○		
	研究指導科目	獣医衛生科学特別演習A(東京農工大学)		○		
		獣医衛生科学特別演習B(東京農工大学)		○		
		獣医衛生科学特別演習C(東京農工大学)		○		
		獣医衛生科学特別演習A(岩手大学)		○		
		獣医衛生科学特別演習B(岩手大学)		○		
		獣医衛生科学特別演習C(岩手大学)		○		

教育研究分野	科目区分	授業科目	観点			
			A	B	C	D
獣医臨床医科学講座	講座科目	獣医臨床医科学特論A(東京農工大学)		○		
		獣医臨床医科学特論B(東京農工大学)		○		
		獣医臨床医科学特論C(東京農工大学)		○		
		獣医臨床医科学特論A(岩手大学)		○		
		獣医臨床医科学特論B(岩手大学)		○		
		獣医臨床医科学特論C(岩手大学)		○		
	研究指導科目	獣医臨床医科学特別演習A(東京農工大)		○		
		獣医臨床医科学特別演習B(東京農工大)		○		
		獣医臨床医科学特別演習C(東京農工大)		○		
		獣医臨床医科学特別演習A(岩手大学)		○		
獣医学学際科目		学際領域特別講義			○	
		国際感染症防疫学			○	
		先進動物医療学			○	
		食品衛生管理学			○	
		動物と人の共存学			○	
先端実践科目		動物基礎医学学外演習(理化学研究所)				○
		獣医衛生科学学外演習(国立感染症研究)				○
		獣医衛生科学学外演習(医薬品食品衛生研究所)				○
		獣医衛生科学学外演習(農研機構)				○
		獣医臨床医科学学外演習(日本中央競馬)				○
		獣医学特別演習(東京農工大学)				○
		獣医学特別演習(岩手大学)				○
		海外演習A(東京農工大学)				○
		海外演習B(東京農工大学)				○
		海外演習A(岩手大学)				○
海外演習B(岩手大学)				○		